

『応用土木振動学』小テスト

学籍番号	氏名	評点

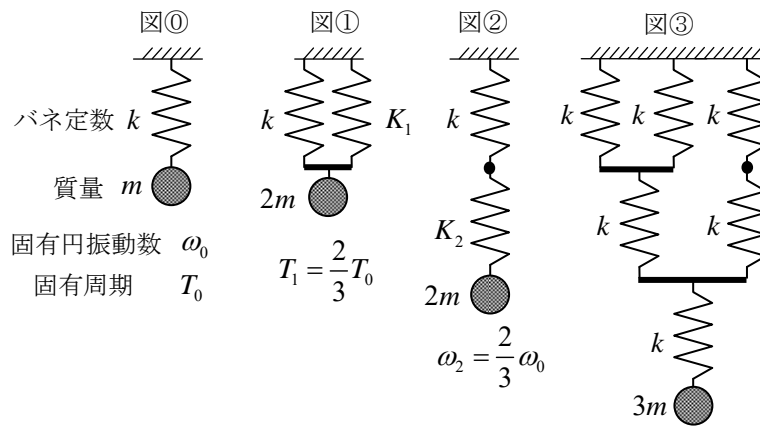
【問題】 下図は、すべてバネ-質量系の1自由度振動を表している。

いま、図①の固有円振動数を ω_0 、固有周期を T_0 とし、図①,②,③それぞれの固有円振動数を $\omega_1, \omega_2, \omega_3$ 、固有周期を T_1, T_2, T_3 とすると、以下の設問に答えよ。

(1) 図①において、固有周期 T_1 が $T_1 = \frac{2}{3}T_0$ となるバネ定数 K_1 を求めよ。

(2) 図②において、固有円振動数 ω_2 が $\omega_2 = \frac{2}{3}\omega_0$ となるバネ定数 K_2 を求めよ。

(3) 図③において、固有円振動数 ω_3 を $\omega_3 = \mu \times \omega_0$ の形で求めよ。



【解答】

【解答】

図(0) の固有振動数 ω_0 と固有周期 T_0 は、 $\omega_0 = \sqrt{\frac{k}{m}}$ と $T_0 = \frac{2\pi}{\omega_0} = 2\pi\sqrt{\frac{m}{k}}$ と表される。

(1) 図①のバネは並列であるから、その合成バネ定数 K は、 $K = k + K_1$ となる。したがって、固有振動数 ω_1 は、

$$\omega_1 = \sqrt{\frac{K}{2m}} = \sqrt{\frac{k + K_1}{2m}} \text{ となり、固有周期 } T_1 \text{ は、 } T_1 = 2\pi\sqrt{\frac{2m}{K}} = 2\pi\sqrt{\frac{2m}{k + K_1}} \text{ となる。}$$

$$\text{ここで、 } T_1 = \frac{2}{3}T_0 \text{ だから、 } \sqrt{\frac{2m}{k + K_1}} = \frac{2}{3}\sqrt{\frac{2m}{k}} \quad \therefore \frac{2m}{k + K_1} = \frac{4}{9} \cdot \frac{m}{k} \quad \therefore 2(k + K_1) = 9k \quad \therefore \boxed{K_1 = \frac{7}{2}k}$$

(2) 図② のバネは直列であるから、その合成バネ定数 K は、 $\frac{1}{K} = \frac{1}{k} + \frac{1}{K_2} = \frac{k + K_2}{k \cdot K_2}$ 即ち、 $K = \frac{k \cdot K_2}{k + K_2}$ とな

る。したがって、固有振動数 ω_2 は、 $\omega_2 = \sqrt{\frac{K}{2m}} = \sqrt{\frac{k \cdot K_2}{2m(k + K_2)}}$ となる。

$$\text{ここで、 } \omega_2 = \frac{2}{3}\omega_0 \text{ だから、 } \sqrt{\frac{k \cdot K_2}{2m(k + K_2)}} = \frac{2}{3}\sqrt{\frac{k}{m}} \quad \therefore \frac{K_2}{2(k + K_2)} = \frac{4}{9} \quad \therefore 8(k + K_2) = 9K_2 \quad \therefore \boxed{K_2 = 8k}$$

(3) 図③の最終的な合成バネ定数 K は、 $K = \frac{7}{13}k$ となる。

固有振動数 ω_3 は、 $\omega_3 = \sqrt{\frac{\frac{7}{13}k}{3m}} = \sqrt{\frac{7}{39}}\sqrt{\frac{k}{m}} = \sqrt{\frac{7}{39}} \times \omega_0 = \frac{\sqrt{273}}{39} \times \omega_0 = 0.423659272 \dots \times \omega_0$ となる。

$$\text{したがって、 } \omega_3 = \sqrt{\frac{7}{39}} \times \omega_0 = \frac{\sqrt{273}}{39} \times \omega_0 \cong 0.4237 \times \omega_0$$

